

令和4,5年度 第3回まちづくり審議会 景観専門部会 概要

- 日 時 / 令和5年5月15日(月曜日) 14:00~16:00
- 場 所 / 長岡京市役所 会議室8
- 出席委員 / 【委員】佐伯委員(会長)、中小路委員、澤田委員
【臨時委員】平尾委員、栗山委員、武田委員
- 欠席委員 / 藤本委員、山口委員
- 事務局 / [都市計画課] 廣課長、西小路係長、小橋技師、山口技師
- 傍聴者 / なし
- 議 題 / 長岡天神駅周辺における都市景観形成の検討について
第3回 高層建築物の色彩基準について
- 主な意見

<高層建築物に対する推奨カラーの検討>

- 背景となる西山や空との調和や、建物が複数棟立ち上がる群景観を想定した際に建物同士の明度差が極端にならないように、明度は6~8の範囲とする。
- 無彩色及び無彩色に近い色彩を大きな面積で使われることを避けるため、彩度は1~3の範囲とする。
- 色相について、現在の色彩基準(2.5YR~5Y)では赤味や黄味が残るため、7.5YR~2.5Yの範囲に絞ることを検討する。
- ベースカラーについて、大部分は推奨カラーとするが、全てを単色で塗ってしまうと単調な印象になるため、一定の塗分け(ベースカラーで明度差2を超えない範囲等)があった方が望ましい。

<高層建築物に対する色彩基準(配色の検討)>

- 高層部はベースカラー(大部分は推奨カラー)とする。
- サブカラー、アクセントカラーは低層部とする。
- 各カラーの使用範囲については、ガイドラインに明確に示した方が良い。
- バルコニー等天井面の色彩についても、色彩基準を明確に示す必要がある。